



宋景聲譯

安如
王
成氏樹給

本を伝える

高山寺本と修復

平成二十七年京都大学図書館機構貴重書公開展示

平成27年

10月27日 火

11月8日 日

(11月2日⑩は休室)

入場無料

開室時間 午前9時30分—午後5時
会場 京都大学百周年時計台記念館

歴史展示室内企画展示室

主催 京都大学図書館機構

お問合せ 京都大学図書館機構

〒606-8501 京都市左京区吉田本町

電話 075-753-2613

URL: <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp>



本を伝える

—高山寺本と修復

高山寺は中世以来の学問寺として知られています。収蔵する典籍が質量を兼ね備えた一大コレクションであることから、経蔵本は「高山寺本」としてつとに名高いものです。

長い歴史の中、高山寺から山外に出た本もあります。その高い価値から、蔵書家は競って高山寺本を求めました。「高山寺」印はそれだけで善本の証しであり、主たる文庫コレクションには、必ず高山寺本が含まれていると言って良いほどです。国宝・重要文化財に指定されている山外本も少なくありません。

京都大学が蔵する貴重書の中にも高山寺本を見ることができます。本展示はこれらの高山寺本と高山寺に關わる本を陳列し、あわせて京都大学における古典籍修復について紹介します。今回の展示が「本を伝える」ことの意味について考える機会となることを願っています。

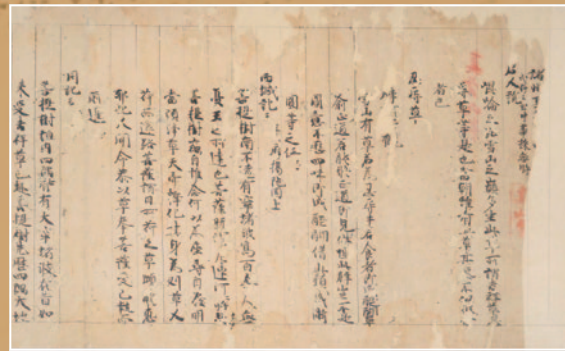


*「高山寺」印



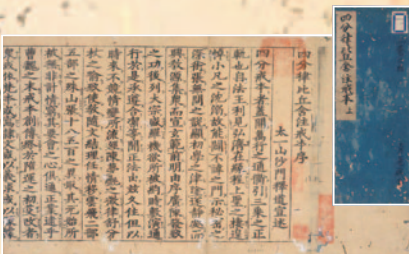
佛説八關齋經

京都大学附属図書館 谷村文庫 1-23ハ1貴
一帖、折本装、紹興三十年跋刊（南宋1160）
八齋戒の内容と、その功德の大きさを説いた経典。宋代に作られた石刻による拓本。



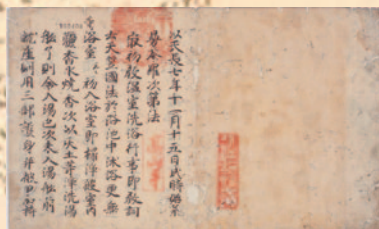
薬字抄（香字抄）

京都大学附属図書館 一般貴重書(和) 7-02ヤ1貴別
一卷（卷三）院政期十二世紀写 卷子本
各種の香について、その性質、効能、産地、採取の時季、用法などを記載した本草系の類書。



四分律比丘含注戒本

谷村文庫 1-23シ6貴
三帖、折本装、巻首「高山寺」朱印、上巻巻尾「銭塘洪先刀」



曼荼羅次第法

谷村文庫 1-26マ1貴
一帖、粘葉装、巻首「高山寺」朱印、鎌倉時代建久四年写



梵網經盧舍那仏説心地法門品菩薩戒本

谷村文庫 1-23ホ1貴
一帖 折本装 竹紙 表紙後補
巻首・巻尾「高山寺」朱印、北宋版

図書館機構貴重資料修復計画で
平成24年修復実施

会期 平成27年10月27日(火)～11月8日(日)
開室時間 午前9時30分～午後5時

会場 京都大学百周年時計台記念館歴史展示室内企画展示室
主催 京都大学図書館機構